

想定される災害で命を無くさないために

自治体が取り組む

命を守る訪問 (L.S.V)

Life-Saving Visit

始めましょう

災害発生時の逃げ遅れ、逃げ渋りをなくすための

特許
取得

[災害時避難カード] 活用

平時に当事者意識を喚起し

いざという時

避難スイッチ ON



設置年月日 年 月 日
〇〇市 〇〇課
TEL 〇〇〇-〇〇〇 氏名 _____



(特許第 7202750 号)

想定される災害で命を無くさないために

「命を守る訪問(L.S.V)」の仕組み

災害の発生が迫っている時は、住民の避難を促すためテレビ、メール、防災無線放送などで繰り返し呼びかけます。しかし、なかなか住民の避難行動に繋がりません。その現状を鑑み、**効果的手法**を考えました。

「**命を守る訪問** (Life-saving visit) 略して**L.S.V**」です。

平時に、自治体担当職員が被災が予想される世帯を訪問(L.S.V)し、“どんな災害の危険性が大きい”かを事前に伝えます。災害で命を無くさないために避難が必要な場面をあらかじめ家人に周知するためです。

訪問の際には、ツールとして**【災害時避難カード】**(特許取得)を配布します。

災害の発生が迫っている呼びかけに対し、自分が避難対象の当事者であることを即座に認識していただくためです。

避難するのは「あなただよ!」「私だな!」と日頃から、当事者意識を喚起しておくことが大事です。

1

住民への**L.S.V**の際に
【災害時避難カード】を
配布します。



平時のうちに被災が予想される世帯を訪問し、**【災害時避難カード】**(該当災害のカードを装着)を配って、玄関壁や下駄箱の上など、毎日、目にする場所に吊り下げいただきます。

2

住民へは、災害発生予想時点
(避難を指示する場面)で
避難指示の情報を流します。



発災予想時点(避難を指示する場面)で『〇〇地区の〇〇色カードの方、直ちに避難してください。』との情報を流します。

3

住民は、毎日目にする
我が家の**【災害時避難カード】**
を思い出し、当事者意識が生まれ、
避難行動を起こします。



避難スイッチ ON



日頃から**【災害時避難カード】**を目にする
ことで、住民の当事者意識が喚起され、
確実な避難を促せます。

平時のうちに、被災予想の世帯を訪問し、[災害時避難カード]を配布します。

カードの種別は、土砂災害、洪水・浸水災害、津波、放射能災害、その他の災害の5種です。

特許
取得



[災害時避難カード]



カード表面の白帯には、災害ごとの避難場所を記載します。

土砂災害

レッドカード

降雨や地震で土砂災害が起きる可能性大の家

洪水・浸水災害

ブルーカード

大雨や川の氾濫で水害に見舞われる可能性大の家

津波

グリーンカード

想定津波の到達深水高より建物標高の低い家など

放射能災害

紫カード

原子力発電所の事故で放射能漏れが生じた時避難する家

その他の災害

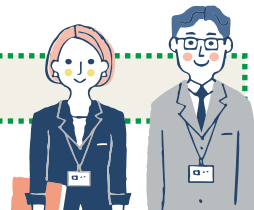
オレンジカード

大雪・倒壊被害ほか

※それぞれのカードは、ラックから脱着可能です。

カードの裏面

自治体名、担当部署名、電話番号はあらかじめ印字し、
配布時に設置年月日および訪問調査員名を記入します。



設置場所

カードラックを下駄箱の上など、
毎日目にする場所に吊り下げて設置しておきます。

緊急時に自治体は

「〇色カードの家の方、〇〇災害の危険が迫っています。
直ちに避難してください。」

のような広報（メール、有線テレビ、防災無線等々）を行います。

住民は、“自分の家のことだ”とカードを見たり、思い出しながら避難スイッチが入ることに！



考慮しておきたいこと

- ・家ごとに避難を要する災害は、異なっています。同じ集落内でも家ごとに差異があります。
- ・災害種別によっては、避難場所（避難所）が異なる場合もあります。
- ・カード配布後、土地の開発などした場合には、改めて現地の実地調査をし直してカードの要否を再吟味します。
- ・経年による環境変化に備え、カードの有効期限は原則5年間とし、5年毎に実地再調査を行います。
※避難する時には、原則向こう3軒両隣りに「私は避難するよ。あなたも逃げよう。」と声掛けをすることを忘れずに。

想定される災害で命を無くさないために
命を守る訪問 (L.S.V)



【災害時避難カード】配布

毎日、目にする場所に吊り下げていただき
いざという時の避難行動につなげます

防災アドバイザー（防災士・防災管理点検資格者）

鳥取県西部防災支援センター

（株式会社 上田商事内）

〒683-0023 鳥取県米子市橋本247番地

TEL 0859-21-1558

FAX 0859-26-2758

<https://uedabousai.com>

mail:ueda.yonago@dance.ocn.ne.jp